

必ずお守りください。

安全上のご注意



<掛け方について>
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。

(2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべ指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(3) 充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

(5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

(6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

(7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。



<電池について>

(1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2) 万一、溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったとき、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

【皮膚に付着した場合】

付着物を拭き取り、水で洗い、石けんでよく洗浄してください。

【目に入った場合】

きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。

【飲み込んだ場合】

水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起すことがあります。また本商品は業務用ではありません。

● 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

● 温度が0℃以下になる所。
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]

● 塵、埃の多い所。
[空気中に舞上がったこみが巻車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。]

● 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
[磁場の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。]

● 浴室など湿気の多い所。また、水がかかると加湿器の蒸気が直接あたるような所。

● 振動のある所。不安定な所。

● 工場、台所など多くの油を使用する所。
[霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。]

● ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

● 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きることがあります。

● 電波ノイズを発生させるもの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)

● スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

● ベンジン、シンナー、アルコール、ミカキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

● 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

● よこれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

● よこれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れが大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様

(改良のため予告なく変更する場合があります)

● 精度：平均月差±30秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温25℃で使用した場合)

● 使用温度範囲：0℃～+50℃
(ただし、液晶表示部 判読可能温度範囲 0℃～+40℃)

● 使用電池：単3マンガン乾電池2個

※アルカリ電池のご使用をお勧めします。
付属電池はモニター電池の為、早く切れる場合がございます。

● 電池寿命：約1年

● 液晶表示：周囲温度(℃)・湿度(%)、カレンダー(月/日、曜日)

● 電波受信機能：自動受信(1日7回)
・受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。

● 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット

● カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー。
月末、うるす年とも修正不要。

● 温度測定範囲：-9.9℃～+49.9℃(測定範囲内での精度±2℃)

● 湿度測定範囲：20%RH～90%RH
(測定範囲内での精度25℃で±10%)

● 光センサーによる自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。

● 電池切れ予告機能：電池交換マークを表示し、秒針が「12時の位置」で停止して、電池交換時期をお知らせします。

※指針(針の表示)誤差について
製造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が入っていない。 電池が正しい向きで入っていない。 電池端子や接片が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわして、リセットボタンを押してください。 リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	<ul style="list-style-type: none"> 静電気などによりマイコンが誤作動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	<ul style="list-style-type: none"> 手動受信中または時刻修正中である。 手動受信中または時刻修正中である。 暗くなり光センサーが作動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 受信終了後、通常の運針に戻ります。 室内を明るくすると秒針が動き始めます。
スイッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none"> 自動受信中である。 	<ul style="list-style-type: none"> 受信が終了すると秒針が動き始めます。
時刻が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 受信に成功し、時刻修正中である。 リセット後、受信動作中である。 受信が成功していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。 「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり再度受信させてください。
	<ul style="list-style-type: none"> 電池の容量が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	<ul style="list-style-type: none"> きちんとリセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 確実にリセットボタンを押してください。

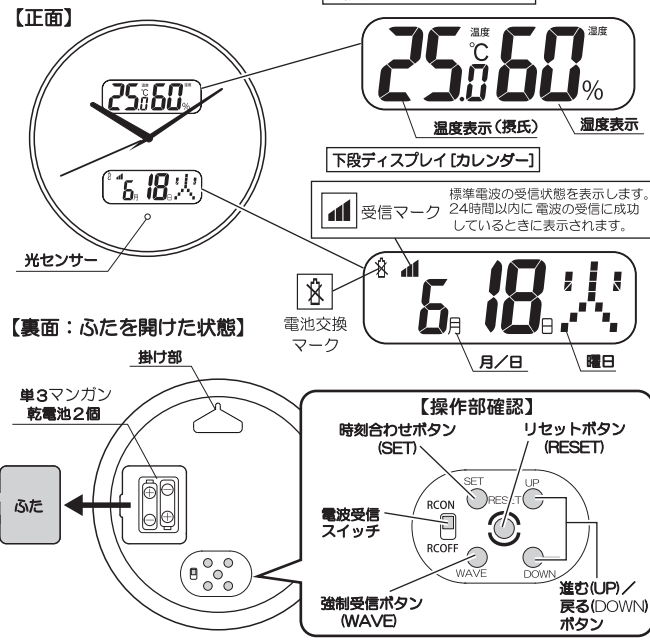
付属品 各部の名称

■ 付属品 ご使用前にご確認ください

- 取扱説明書（本書）
- 単3マンガン乾電池 2個
- 針 1本

■ 各部の名称 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

※図は一例です



ご使用方法

1. 電池を入れてください

裏面のふたを開けてください。
電波受信スイッチをONにして、電池を入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。

2. リセットボタンを押してください

- 受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。
- 時分秒針が早送りして「12時の位置」に停止し、電波受信を開始します。
- 受信に要する時間は、最長約16分間です。

＜受信に成功した場合＞

[カレンダー]部に受信マーク と現在時刻が表示され、自動的に針を合わせます。その後、[カレンダー]部は現在の日付を表示します。

＜受信できなかった場合＞

時刻を修正しないで12時から針が動き出します。また、[カレンダー]部に受信マーク は表示されず、日付の修正は行われません。右記「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
電波受信スイッチがOFFの場合は、電波受信を行いません。



3. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

その他の機能

■ 自動受信について

毎日7回、自動で電波受信を行いません。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
●午前2、3、6、10時および午後2、6、10時の各16分に受信を開始します。
※自動受信のとき、秒針が「12時の位置」に停止することがあります。

■ 電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

強制受信ボタンを約3秒間押し続けてください。
針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。
受信に要する時間は、最長約16分間です。
●受信中は針が停止します。
●受信に失敗した場合は、全ての針が動き出しますが、正確な時刻ではありません。場所を変えてもう一度受信させてください。
●詳しくは「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は風間にくらべて受信状態が良くなりますので、風間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- (1) [時刻合わせボタン]を約3秒以上押し続けてください。
- (2) [時刻合わせボタン]を押すごとに下図の順に表示が点滅します。
- (3) [進む/戻るボタン]で日付や時刻を合わせてください。(曜日は自動で合います。)
[進む/戻るボタン]を押し続けている間は早送りをします。

※約8秒以上ボタンが押されなかった場合は自動的に終了します。



■ 自動受信を止めるには

電波受信スイッチをOFFにしてください。
●自動受信機能がOFF状態になります。
(この時計には自動受信を止める機能があります。誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。)
※OFF状態では、受信結果の表示や手動による受信ができません。
※時刻を合わせる場合は、上記「2.手動で時刻を合わせる」に従ってください。

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止し、明るくなると秒針が動き出します。
●秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

電波クロックについて

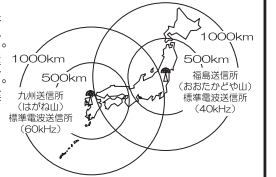
■電波時計/電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所 (東・西2カ所) からおおよそ1000km～1200kmです。この製品は4.0kHz (東・福島送信所)、6.0kHz (西・九州送信所) のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えておいてください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや障害などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、時空標準研究室 日本標準時グループのホームページをご確認ください。

HPアドレス : <http://jijy.nict.go.jp/>

■使用場所について

- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下。
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
 - 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
 - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
 - スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。
電池の残量が少なくなると、電池交換マーク を表示し、秒針が「12時の位置」で停止し、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池にすべて交換してください。

■リセットについて

針が早送りをして「12時の位置」で停止し、受信を開始します。
受信できない場合は、12時から遅針します。

■温度・湿度表示について

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかります。
- 温度・湿度が以下になったときの表示
 - 温度 -9.9℃より低い:「LO」、49.9℃より高い:「HI」
 - 湿度 20%より低い:「LO」、90%より高い:「HI」
- ※温度表示は、温度が5℃～46℃以外では「—」と表示されます。

■使用上のご注意

- 指針 (針の表示) 誤差について
製造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。
- 海外での使用について
この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。「自動受信を止めるには」をご参照のうえご使用ください。
- 液晶パネルについて
見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。また、温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。